



令和3年度 前期まとめ

学校アンケート

千葉市立高洲第三小学校

学校が楽しい

90%

保護者 98%
先生 96%



そう思わない
10%

楽しい学校をちからを合わせて

9割の子供たちが楽しく過ごせていることは喜ばしいことです。10%を限りなく0%に近づけるため一人一人に居場所があり尊重される学級・学校作りに子供たちとちからを合わせて取り組みます。

なかよくできた

94%

保護者 97%
先生 96%



そう思わない
6%

わかった！

90%

保護者 90%
先生 96%



そう思わない
10%

すすんで学んだ

79%

保護者 77%
先生 96%



そう思わない
21%

友だちと一緒に学ぶこと。そこから人間関係を作る力や、ちからを合わせて課題を解決する力が育まれます。本校の課題は「すすんで学ぶ姿勢」を育てること。学ぶことの楽しさと大切さを教えます。

体力づくりができた



82%

保護者 76%
先生 70%

時間を守れた



90%

保護者 77%
先生 90%

手伝い・掃除ができた



86%

保護者 76%
先生 86%

あいさつができた



87%

保護者 87%
先生 70%

子供たちの「自己評価」は高めです。これは良いことです。私たち大人は「もっと」という気持ちになりますが「できていること」をさらに伸ばしていきましょう。

保護者の皆さんに伺いました



情報がわかりやすい

86%

そう思わない
14%



相談しやすい

93%

そう思わない
7%



いじめ防止の取組

93%

そう思わない
7%

相談しやすいや、いじめ防止への取り組みに高く評価をいただいたことは、私たちの「励み」になります。また、情報の発信は「伝わる」「わかる」を大切にまいります。

【自由記述設問での御意見について】

自由記述欄に34名の方からご意見をいただきました。全てのご要望にお応えすることは難しいのですが、よりよい学校、開かれた学校めざして皆様と一緒に考えてまいります。
また、本校の取組や教職員について、20名の方からお褒めの言葉や励ましの言葉をいただきました。これを励みに、引き続き努力してまいります。ありがとうございます。

Q ギガタブの活用について

ギガタブがどんな時にどのように活用されるのか知りたいです。

A 国の施策「GIGA スクール構想」に基づいて、一人1台の端末と高速通信ネットワークが整備されました。このタブレットを通称「ギガタブ」といいます。以下、ギガタブの活用についてご紹介します。

◎ 授業での活用

カメラで動画や静止画を撮る インターネット検索 学習資料の拡大活用 発表ノートなどを作成

◎ 家庭での課題ツールとして

ドリルパークなど、学習アプリを使った家庭学習 タイピングソフトなどで練習

◎ 欠席者などのフォローとして

授業のライブ配信 欠席者の連絡ツール



Q 児童の生活の様子から

コロナ禍で時間の無い中、授業の進み具合が心配になることがあります。

自然の中で沢山遊ぶ経験をさせてあげたいと感じています。また、異年齢との関わりも沢山ほしいです。
去年のコロナになってから挨拶をする子が減った気がしました。

A ◎ 授業の進捗について

今年度は4月より学校が開始されており、授業時数は十分確保されています。学習進捗については「学年だより」に学習内容を掲載しておりますのでご確認ください。

◎ 体験活動について

今年度、6年生は農山村留学で鴨川に行き、2泊3日海の自然を満喫してきました。5年生の移動教室も12月に「千葉市少年自然の家」で実施予定です。11月下旬から徐々に「校外学習」や外部団体を招いての「芸術文化鑑賞会」など実施予定です。

◎ 異学年交流について

「たて割り活動」がテレビ放送を活用したものが多く、1年生の掃除や給食を6年生がお手伝いをする場面もありましたが限定的な活動です。今後少しでも異学年交流ができるよう、「縄跳び大会」など実施予定です。

◎ 挨拶について

マスク越しに軽く会釈をする児童もあり、挨拶の仕方をそれぞれが工夫しています。緊急事態宣言の解除に伴い、児童による「朝の挨拶運動」を再開しました。担当児童の元気な挨拶で、高洲三小伝統の「気持ちのよい挨拶」を取り戻していきたいと思っております。



回答数： 児童 358名 教職員 26名
保護者 322名（保護者アンケート回収率 89.4%）